



# 「こころ」



子供たちの笑顔をしつかりと受け止めるお年寄りたちの知恵、活力ある世代がしつかりと地域を支える社会システムの循環、そうした仕組みづくりを住民と行政が力を合わせてしつかりと確立することが重要です。

幼児教育、学校教育、一生を通じた生涯教育、健康を守る保健、人生を楽しくするスポーツ、文化、そして互いに支え合う社会福祉、それらの充実によって「こころ」を育てる村が実現できるのです。

## 愛らしい笑顔の明日

どんなときも子供たちの未来は輝いていて欲しいと願います。

少子高齢化は一部の過疎地域だけの問題ではなく、国を挙げて取り組まなければならない重要な課題となっています。安心して子供を産み、育てることのできる社会、子供たちに大きな夢を与えることのできる社会づくりを目指さなくてはなりません。

自然が豊かで良好な環境で育つ子供たち、彼らの瞳にはきつと輝かしい未来が写っているはず。